

授業科目名 (英語表記)	大阪南部の地域防災 (Regional Disaster Prevention in southern Osaka Prefecture)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	此松 昌彦、田内 裕人、吉野 孝、岩谷 潤		
開 講	岸和田サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：12月9日(土) 13:00～17:00	第4回：1月20日(土) 13:00～17:00	
	第2回：12月16日(土) 13:00～17:00	第5回：1月27日(土) 13:00～17:00	
	第3回：12月23日(土) 13:00～17:00	第6回：2月10日(土) 13:00～17:00	

【授業の概要・ねらい】

大阪南部において中央構造線系や上町断層に内陸地震と南海トラフ地震の海溝型地震が心配されている。また風水害が増加しており、災害のリスクは高まっている。私たちはそれらの災害から命を守り、周りの大切な人たちを助けることも重要なテーマになる。そこでこの講義では私たちが災害に対して、どのような備えをしていけば良いのかを自分で考え、災害時の多様な課題について判断ができるようになることを目指す。

【授業計画】

第1回 大阪南部に想定される災害とは

和歌山大学教育学部 此松 昌彦 教授
 ゲストスピーカー 岸和田市危機管理課職員

第2回 津波から逃げ切れ！ ～数値シミュレーションと避難実地訓練の融合～

和歌山大学システム工学部 田内 裕人 講師

第3回 災害時の避難をアプリでシミュレーションする

和歌山大学システム工学部 吉野 孝 教授
 ゲストスピーカー 岸和田市危機管理課職員

第4回 被災後の情報共有について ローカルな情報をローカルに

和歌山大学教育学部 此松 昌彦 教授
 ゲストスピーカー 和歌山大学経済学部 佐藤 周 名誉教授

第5回 避難後の心のケアを考える

和歌山大学教育学部 此松 昌彦 教授
 東京医科大学 岩谷 潤 兼任助教 地域生活支援センター 櫻 職員 等
 一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ からこころステーション 渋谷 浩太 氏

第6回 今までのことから地域防災を考える

和歌山大学教育学部 此松 昌彦 教授



【到達目標】

私たちは地震や風水害などの災害時にどのようなことが発生するのかを理解し、自分の命を助け、周りの人たちを救助したりすることができる。さらに避難所での発生するであろう課題を理解して、避難所でのボランティアなど支援することができるようになる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

6回の単元ごとに課題に対する理解度、自己分析を課題としてレポートを提出する。各回100点満点を6回分を平均化した点数を成績とする。

【教科書】

その都度、資料を配布する。

【参考書・参考文献】

特になし。

【履修上の注意・メッセージ】

開講場所は岸和田サテライトです。フィールドワーク(まち歩き)を行う回があります(2回、3回)ので、歩きやすい服装で来てください。3回の吉野先生の回では、可能であればノートパソコンをご持参ください。まち歩きに際しましては、当日数百円程度の保険料をご負担いただきます。

【履修する上で必要な事項】

岸和田サテライトへ毎回来ていただき対面で受講してもらいます。

【授業時間外学修についての指示】

大阪南部のハザードマップなどを读んだり、地域防災について調べたりしておいてください。本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学修が必要です。

【授業理解を深める方法】

市内の街歩きして危険な箇所を探したり、課題をグループ学習で議論して発表してもらうことがあります。